

# 茨城NPO情報

## MONTHLY COMMONS

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

- ①…巻頭コラム・NPOのひとつとトピックス
- ②…NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第21号  
2004.8

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2-2-23生野ビル102号  
Tel 029-300-4321 Fax 029-300-4320  
URL: <http://www.npocommons.org>  
E-mail: [info@npocommons.org](mailto:info@npocommons.org)

### 指定管理者制度に注目を

#### コラム

昨年の地方自治法改正により、従来行政及び行政が出資している公益法人だけに認められていた公共施設の管理を民間の企業やNPOでも行えるようになった。公共施設とは、文化ホール、スポーツ施設、図書館、公民館、福祉施設、公園、衛生施設など、私たちの暮らしに身近な施設のこと。既に自治体内では、民間に管理を任せる施設の検討が始まっており、今後、議会で条例改正が審議され、来年度には、指定管理者の公募も本格化する見込み。

NPO法人が施設の指定管理団体となると、事業の運営だけでなく、施設の維持管理、利用料の徴収も自治体から委託されることになる。市民の視点による施設運営ができるチャンスともいえるが、当然管理を担えるだけの組織運営も求められる。また管理費用がどう見積もられるかも気になる。ボランティア頼みで管理費が安すぎる施設管理委託が増えているからだ。形だけの協働、民営化ではなく、住民にとってメリットのある民営化にするにはどうすればよいか。市民団体には、住民ニーズを捉え事業化する企画力と市民を運営に巻き込むコーディネート力、資金を生み出す力が求められるだろう。まず、住民ニーズは何か、施設をどう活用するのかについて、市民と行政が話し合うことから始めたい。

(文 理事 横田能洋)

茨城県認証NPO法人

217(7月28日現在)

内閣府認証県在NPO法人

56(6月30日現在)

## 地域を元気に。「コミュニティビジネス」



理事長 細内信孝さん  
コミュニティ・ビジネス・ネットワーク

たい事業ありきで、お金がどこから入ってくるか見えないプランも多いという。そんな時は、市民、行政、企業のニーズはどこにあるか、誰からお金をもらえるかの整理が必要とアドバイスする。儲かりそうにない事業なら、儲かる事業を併せて考える、あるいは本業で生活基盤をつくりつつ、地域貢献にもチャレンジする方法もある。儲からなくてもやりたいことに取り組み際のコトは多足のワラジを履くこと。

### 仕事は「つなぐ」こと

CBは社会的起業ともいわれる。社会的起業をリードする人はソーシャルアントレプレナーだ。顔の見える関係で行うCBでは、サポーターやパトロン、パートナーを集めやすいという利点がある。細内さん達は11年前から、東京都墨田区でCBの起業に取り組み、同地域では、情報サービスや高齢者生活支援の事業が立ち上がった。その際も地元の商店や企業関係者、学生、主婦の協力で取り組んだ。高齢者介護には、専門のヘルパーがいれば良いということではない。生活の質を高めるには、ボランティアや、それだけでなく、多様な企業サービスも必要。地域の活動をヨコにつなげる視点がCB成功の鍵といえる。

(文と写真 横田能洋)

### NPOのひとつと

細内さんは、コミュニティビジネス(以下、CB)という言葉を生み出した人である。11年前、バブル経済がはじけたころ、細内さんは、ある民間の研究所で地域再生の方法を研究しながら全国の事例を調べていた。当時は地域問題の話をする、10人中3人は、それは役所にやってもらえばいい、と言っていた時代だった。けれど、細内さんは、地域再生の鍵は、行政でもデベロッパーでもなく、住民だと考えた。米国の地域再生を調べると、やはり住民がビジネスの手法を取り入れて地域問題解決に取り組んで成功している。そこで、これをコミュニティビジネスと名づけ、主婦の方には生活ビジネス、子どもたちには、まちにやさしい仕事と説明しながら、10年間で500回以上も講演に歩き、全国各地で取り組みが広がっている。

### CBとは?

ので、模擬の企画が課題であったのだが、なんと本当に実行してしまったのである。

NPOが市民に広く支持を得ることは重要。ゆえに、市民とつながる機会をつくるイベントの企画も訓練に組み込まれた。訓練開始当時は、自分たちがNPOのイベントを企画実行するとは夢にも思わなかったであろう。受講生たちは、着実にNPO起業のスキルを身につけていたようだ。

\* \* \*

起業科の訓練は水戸市内で行われ、期間は5月～7月の3ヶ月。受講したのは求職

をつくるまで時間がかかるところが課題だと指摘する。

### 事業家に求められる緊張関係

通常のビジネスの成功率は10%だが、顔の見える関係の中で、適正規模で行うCBの成功率は40%とのこと。ローリスクローリターンだが、ビジネスなので失敗もありうる。ビジネスではお客様、そして自分との間でも適度な緊張関係が必要になり、労働の対価も払う。起業を目指す以上は、食べていける生業にする必要があると指摘する細内さんは、NPOでも、事業を採算に乗せるには、企業と同様にマーケティングやマネジメントの手法を持つ必要があると話す。

### 作り手の発想からマーケットの発想に

目的もあり、いいサービスだから利用者はいるという考え方は危うい。細内さんが企画を審査する際も、まず自分が行い

コミュニティ・ビジネス・ネットワーク  
〒206-0824  
東京都稲城市若葉台4-33-7-402  
Tel & Fax 042-331-7551  
<http://www.hosouchi.com>  
E-mail: [cbn@gold.livedoor.com](mailto:cbn@gold.livedoor.com)

### TOPICS

### 本年度職業訓練NPO起業科終了

7月18日(日)、水戸市千波公園にて、介助犬普及啓発イベント『介助犬ってなに?』が、NPO法人茨城介助犬協会を招いて行われた。公園に遊びに来ていた親子連れの眼にとり、酷暑の中でも賑わいを見せた。このイベントは翌日の朝刊でも紹介された。

主催は「介助犬を広める会」だが、実はコモンズが昨年(独)雇用・能力開発機構から受託したNPO起業科の受講生たち。訓練の「イベント実習」で企画したも

中の13名で、30代が中心。経歴は多様で、元番組制作ADやプロのミュージシャン、コモンズでボランティアをしていた青年も。訓練の内容はNPO起業に必要な知識と実務(法人設立、会計など)や、広報や業務効率化のためのパソコン実習。「NPO未体験」という受講生も多く、NPOを肌で感じてもらうため、NPOに向いて取材・活動実習も行われた。

7月28日(水)には訓練の成果として、事業計画発表会が行われた。経歴が多様ならば、起業への想いも多様。家具リサイクル、

市民農園、廃校利用、処分動物の救済事業など多岐に亘った。講師や県内NPO関係者による審査が行われ、最高得点は学生ベビーシッター事業を企画した笹嶋さん。子を産む前にベビーシッターを経験させ、現在の子育ての諸問題(少子社会、育児負担、虐待など)を解決する糸口にしようという企画。地域的広がりを見せる可能性があったことも得点につながったようだ。

3ヶ月を伴にした受講生たちは、今月から各々道を探る。彼らがこの茨城に新風を吹き込むことを、願ってやまない。

情報掲示板(今月から来月にかけてのイベントなどを掲載しています)

◆◆イベント案内◆◆

■アテネ・パラリンピック日本代表 軽部弘選手(水泳)、鈴木徹選手(走高跳)を励ます映画と壮行のついで

日時 8月21日(土)
第1部 午後1時半(開場30分前) 映画上映
第2部 午後3時半 壮行会
場所 ノバホール(つくば市)
入場料 大人1,200円(当日1,500円)、小・中・高校生900円(当日1,000円)
主催 アテネ・パラリンピック日本代表選手激励会と映画「ウィニング・パス」上映実行委員会
後援 つくば市、つくば市教育委員会、つくば市福祉協議会
問い合わせ 茨城映画センター
Tel 029-226-3156 Fax 029-226-3130

■市民団体パワーアップ講座開講フォーラム受講者募集

日時 9月5日(日)午前10時~午後3時
場所 さんさん館 多目的会議室(龍ヶ崎市)
内容
テーマ「これからの公共施設と市民の参画~市民団体と行政の連携を進めよう~」
基調講演「市民参画・協働型の公共施設管理運営について~指定管理者制度~」
事例発表「仙台との協働 仙台市子育てふれあいプラザ“のびすく仙台”」
分科会、全体会
定員 50名程度
問い合わせ 龍ヶ崎市市民活動センター
Tel 0297-63-0030

■情報を入手し、進路を考える場(2004)不登校・中退からの進路一情報相談フェア

来春の高校入学、再入学・転編入をめざし情報入手、居場所探し、進路を考える総合フェアです。
日時 9月18日(土)午後1時~7時、19日(日)午前11時~午後6時
場所 葛飾区立新小岩地区センター・不登校情報センター(新小岩駅南口5分)
内容
(1)進路講演会と学校説明会(午後1時~2時)
18日(土) 不登校・中退者の進路...松田武巳(不登校情報センター)
19日(日) 訪問サポートと子どもの同世代復帰(訪問サポートカネネット)
(2)個別進路相談(午後2時~5時半)
18日(土)、19日(日) 定時制高校、通信制高校、全寮制(全日制)高校、通信制サポート校、技能連携校、大検予備校、高校留学、フリースクールから進路相談員が出席します。
(3)学校案内書無料入手コーナー
200校分そろえてあり、持ち帰り自由。
(4)不登校・中退関係の図書販売(不登校情報センター・あゆみ書店午後1時~6時)
300種類を用意
(5)教育心理相談(午後2時~5時)
参加費 500円(20歳未満無料)
\*宅配便の手配もいたします。
申し込み・問い合わせ 不登校情報センター
Tel 03-3654-0181 Fax 03-3654-0979

■ホワイトボックス フリーマーケット&NPO・NGO展参加団体募集
(社)日本青年会議所の第53回全国会員大

会が水戸市を会場に開催されるにあたり、フリーマーケット&NPO・NGO展が開催されます。そこで、日ごろの活動を展示していただける団体を募集しています。市民に向けての情報発信の絶好の機会にぜひご活用ください。
日時 9月25日(土)、26日(日)
場所 千波湖畔の特設テント内
参加費 無料
問い合わせ Tel 090-4978-5881(川崎さん)
E-mail: atushi@demezo.com

■筑波山麓自然学校~大人のためのプログラム~第2回「秋の野草を訪ねる筑波山ウォーキング」参加者募集

筑波山の植物を楽しく学ぶ入門編です。二日間、秋の筑波山で野草を訪ねながら気持ちよく歩きます。お気に入りの写真を使ったMy野草カード作りや交流会もあります。
日程 9月29日(水)午前10時~30日(木)午後3時
1日目 筑波山の植物を訪ねるウォーキング、夜はMy野草カードの作成、学習会、交流会「筑波ふれあいの里」にて宿泊
2日目 筑波山麓・里山の植物を訪ねるウォーキング、午後はMy野草カードの仕上げ
講師 鈴木昌友先生(茨城大学名誉教授)
対象 植物に興味のある方、自然観察の指導者を目指す方(初心者大歓迎)
定員 一般25名(先着順)
参加費 つくば市内の方8,000円、市外の方9,000円(宿泊費・食費・資料代・保険代等含む。ケーブルカー代は別途)
主催 つくば市、筑波ふれあいの里
申し込み・問い合わせ (8月29日(日)より) 筑波ふれあいの里
Tel 029-866-1519(午前9時~午後5時、火曜日休館) Fax 029-866-1513

■内モンゴル現地沙漠植林協力9月隊募集

当協会は、戦争残留孤児鳥雲さんとの出会いをきっかけに活動を始めた沙漠植林ボランティア協会と共に活動してきましたが、2003年に独立し、地元農牧民の自主的植林活動を支援するという方針で活動しています。地元農牧民と協力して沙漠森林農場づくりや沙漠緑化学習会の開催など、地域に密着した活動を行っています。
期間 9月30日(木)~10月5日(火)
場所 庫倫旗地区ホルチン沙漠 烏雲農場内の鹿嶋市民の森その他
定員 20名
旅費 158,000円(植林協力金含む)但し、オプション、保険は含まれていません。
締め切り 8月30日(月)
申し込み・問い合わせ NPO法人 内モンゴル沙漠植林交流協会(代表 八代さん)
Tel&Fax 0299-69-4539
E-mail: sabakusyokurin@rio.odn.ne.jp
日本エコプランニングサービス
Tel 03-5807-1691

◆◆ボランティア募集◆◆

■まつりつくば2004で環境対策をする~Naごみ~ 当日スタッフ募集
「Naごみ」という団体は主に、つくば市最大のお祭り「まつりつくば」において、来場者にゴミの分別を呼びかけ、リサイクルを促進しています。その活動の目的は単なるゴミの分別回収ではなく、あくまでイベントで出るゴミの削減です。また、環境啓発イベントも行います。
日時 8月28日(土)正午~午後8時

今回、私は日立市の「NPO法人 ふれあい坂下」による配食サービスを1日体験してみた。『久慈川日立南交流センター』を訪れたのは朝9時前。配食サービスのスタッフはすでに白いエプロンとマスクを身につけ調理室で忙しく準備をしていた。聞いてみると食材は前日に買い込んであるという。「何かお手伝いすることありませんか?」と言うと「まず、手を洗ってください」とスタッフの女性。アルコールのスプレーを調理台にかけるなど衛生管理に念を入れているのがうかがえた。やがて、代表の川崎真理子さんがニコニコしながら来館。早速話を伺う。



自主グループの活動で「配食サービス」を始めたのは01年のこと。家事援助などの「くらしのたすけあい」、小学校低学年の子を持つ母親の交流講座を内容とする「交流支援」。これらの3事業を柱としNPO法人化に踏みきったのは02年。久慈川と茂宮川の流域、住宅団地の一部が活動エリアとなる。田園地帯のせい、生まれ育った人の割合が市内の他地域よりも多いという。それでも子育てに悩む若い母親、社会人となった子供たちと別居を余儀なくされた老人は少なくない。そこで求められるのが地域の福祉。

真っ白に輝くご飯、温かい味噌汁と肉じゃがが今日の主な献立。保温型ランチボックスだから冷めない汁もこぼれない。当日は4人のスタッフが手分けして32人分を配達する。
自家用車にランチを載せ、いざ出発。私は菊池三郎さんの車に同乗し南高野地区へ。「こんにちは。お弁当もってきましたよ」菊池さんの声は大きく明るい。耳が不自由なお年寄りを考えての事だ。「元気があった?何か変わったことはなかった?」と声をかけるのも重要なポイント。接し方は各個人に合わせたものになり、先を急いでいても丁寧な受け答えをする。菊池さんはお年寄りの目線で接することをいつも心がけているという。お年寄りの心理や家族環境、その人の歴史の把握がサービスを行う際、いかに大切か思い知らされた。配達後はスタッフ全員で会食。「あの料理はこうして作ったほうが美味しい」とか、「〇〇さん宅はこうだった」と話しあがはずみ、情報交換の場になる。ひとつひとつの話題に工夫が加えられ、質の高いサービスに昇華していく。スタッフの活躍を目の当たりにし、敬意を払うとともに地域の福祉、互助精神の本質がこうした現場にこそ培われていくことを痛感。帰りの車中、体験を通じた私の認識が変化していくことに気づいた。



文と写真 河本 敦さん

NPO法人 ふれあい坂下
〒319-1233 日立市神田町1810
久慈川日立南交流センター
Tel 0294-52-6348

29日(日)午前10時~午後8時
○お好きな時間2時間以上できる方
待遇 お弁当有り(昼夜共)。公共交通機関のご利用をお勧めしますが、自家用車で来られる場合は、近くの有料駐車場を費用個人持ちで利用していただくこととなります。

\*服装は汚れてもよい格好、雨天の場合「まつりつくば」が行われる限り実行します。中止の場合は決定次第個々に連絡します。
申し込み・問い合わせ
Tel 090-9863-3808(北田さん)
E-mail: nagomi@net-tsukuba.com

■アートタワー・マーケットボランティアスタッフ募集

毎月第4土曜日(10月は第5、12月は第3土曜日)、水戸芸術館広場で行うフリーマーケットの運営スタッフを募集しています。主な仕事は、フリーマーケット開催当日の受付、出店者・お客様への対応、会場の準備・管理・片付けなど。時間は午前10時半~午後3時半頃まで。様々な人とのコミュニケーションを楽しみたい方、歓迎です。
問い合わせ アートタワー・マーケット事務局
Tel 080-1113-8743

五軒町 だより
事務局に 事務日誌に かけて

さるすべり 百日紅



目の前に何か落ちてきました。濃いピンクの花が、風に吹かれてふわふわ転がっていきます。何かと思って上を見たら大きな百日紅の木が。職業訓練会場の隣の家、夏の暑い太陽にも負けず、むしろ喜んでいかにようにいっばいに花をつけています。いつも通っていたのに気がつかない私。下ばかり向いて歩いてきたのだと、はっとしました。
それからというもの、この家にもあの家にも、その教会にも... 周りの木は緑が繁る中、赤や白の花は一際目立って目に留まります。
気づいたら簡単なこと、そしてそれが次につながる。そんなことがきっと沢山あると思う。

(文と絵 草間多佳子)

- ハモナカフェ(Tel029-871-2157) 水戸芸術館(Tel029-227-8111) 水戸カトリック教会(Tel029-221-3976) ギャラリー「街かど美術館」(Tel0294-72-8888) 自然食レストラン「パンクキン」(Tel0293-42-1818) 常陸太田生涯学習センター(Tel0294-72-8888) カフェ「ピアノシモ」(Tel029-255-3777) 自然食品「イーハトーブの森」(Tel090-9933-9236) こどもとおとなの学校「恵藍舎」(Tel029-246-9689) 県水戸生涯学習センター(Tel029-228-1313) 交流サロニー「いばらき」(Tel029-302-2160) 水戸市国際交流センター(Tel029-221-1800) 水戸市福祉ボランティア会館(Tel029-309-4141) まちの駅みと(Tel029-302-3100) 菜食カフェレストラン「Ritz'n (りつん)」(Tel029-856-0009) つくば市市民活動センター(Tel029-855-1171) 鹿嶋市立中央図書館(Tel0299-83-2510) 龍ヶ崎市市民活動センター(Tel0297-63-0030) 守谷市民活動支援センター(Tel0297-46-3370) 下館市立図書館(Tel0296-24-3530) 県西生涯学習センター(Tel0296-24-1151) 県南生涯学習センター(Tel029-826-1101) 県立図書館(Tel029-221-5569) 水戸市立中央図書館(Tel029-226-3951) 水戸市立西部図書館(Tel029-255-5651) 水戸市立東部図書館(Tel029-248-4051) まちかど情報センター(Tel0299-27-5171) 水戸市男女文化センターびよんど(Tel029-226-3161) ロイヤルフィットネスクラブ(Tel029-273-3281) 阿見町市民活動センター(Tel029-888-2051) 伊奈町立図書館(Tel0297-58-3710) コープレール水戸店(Tel029-246-1421) 学びの場「あがべ」(Tel029-221-8836)

あとがき 報連相、何ことも基本からとりくまねば。(ハリ) 暑中、いよいよ、残暑お見舞い申し上げます。(くま) 光輝く個性で1歩前に入る勇気で何かが変わる。(ユキ) 雨にも負けず、風にも負けず、この夏の暑さには負ける。(公威) ガンバレ! ガンバレ! オリンピックもモンスも。(ポブ) 光と影。オモテがあればウラもあるのさ。(カムイ)